

Together

SHUKUTOKU

<http://www.shukutoku.ac.jp>

No. 217

2017.7.1
Summer

学長メッセージ

広がり深まる地域連携

ともいきのこころ

学祖と医療・福祉

淑徳人

国際NGO団体 DAREDEMO HEROスタッフ

内山 順子さん

Campus News

知識モリモリ×健康モリモリ

小児がん経験者と晚期合併症
(Late Effects)

「共生」の想いが導くもの

特集

看護栄養学部 看護学科
10周年記念 座談会

Cover Person

川上 陽子さん
(看護学科3年)



がんばっている学生、グループ、注目のイベントなどをご紹介。

Topics

国際交流センター設立

この4月、本学のグローバル化を推し進めてゆくため国際交流センターが稼働を開始しました。センター自体は千葉キャンパスに設置されますが、埼玉キャンパスにも分室が置かれ、大学機構として全体の国際交流を所管します。

センターでは、①国際交流に係る事業計画及び運営、②学生の海外留学生及び海外研修、③外国人留学生の受入れ、④学外国際交流機関との相互連携及び協力に関する業務を行います。学生の皆さんには、これまで以上に質の高い海外研修の機会を提供してまいりますので、どうぞ期待ください。

また、5月25日には友好協定締結先である中国吉林省・東北師範大学人文学院の呂英華学長はじめ趙繼倫社会福祉学院院長、索建新同副学院長、趙岫峰健康福祉副学院长、李娟国际交流センター長らを千葉キャンバス、千葉第二キャンパスにお迎えし、両大学の今後の交流について活発な意見交換が行われました。



(写真上段)
人文学院一行、看護栄養学部見学後
良信先生胸像前にて

(写真下段)
人文学院との会談に先立ち、下山副学長の挨拶

ソフトボール部 インカレ出場決定 女子柔道部 ユニバーシアード2017 日本代表として出場決定

去る5月20日から行われました予選会に見事勝ち抜き、ソフトボール部が文部科学大臣杯第52回全日本選手権大会（インカレ）への出場を決めました。ご支援、ご声援いただきありがとうございました。大会は、9月1日～4日にかけて広島県東広島市・呉市で行われる予定です。

また、女子柔道部の井上舞子さんは（経営学部経営学科3年）が、8月19日より台北にて開催される第29回ユニバーシアード競技大会において、78kg超級の日本代表選手として選出されました。多くの皆様のご声援をよろしくお願いいたします。



(写真上段) インカレ出場が決ったソフトボール部
(写真下段) 女子78kg超級日本代表選手としてユニバーシアード競技大会に出場予定の井上舞子さん

地域連携の取り組み

淑徳大学では、各自治体との地域連携を進めています。既に、東京都板橋区、埼玉県三芳町、富士見市、和光市、茨城県笠間市との地域連携協定を締結し、緊密な連携がなされています。さらに、本年3月千葉県酒々井町、6月には、千葉市、埼玉県八潮市との包括連携協定を締結致しました。包括連携は、淑徳大学の専門性を生かした地域貢献活動、人材育成、自治体施策の推進や地域の課題解決のための大学資源の活用を



熊谷俊人千葉市長、磯岡哲也学長による
協定書への締結式

主な目的とし、地域貢献、地域社会との共生に尽力して参ります。

COVER PERSON 表紙の人 No. 217



看護栄養学部 看護学科3年
かわかみ ようこ
川上 陽子 さん

私は、人に寄り添い支えることができる看護師になりたいと思っています。なぜなら、私は病気や老いは人に非常に大きな不安、恐怖を与えることを知ったからです。このことが、私が看護師を目指すきっかけとなりました。看護は勉強することに新たな疑問が生まれ、課題の量も多く、大変ではありますが、その分、一緒に学ぶ仲間との結束が固くなります。共に学ぶ仲間の優しさや学習への姿勢に刺激を受け、充実した日々を過ごしています。

看護師になりたいという自分の夢は、支えてくれる家族や先生方、そして何より実習で関わらせていただく患者さんの協力があつて初めて実現されるものです。その自覚を持ち、感謝の気持ちを忘れることがなく、今後も努力していくと思っています。



一季一言
淑徳大学 学長
磯岡 哲也

広がり深まる地域連携

本学は建学以来、地域開発、地域連携を大切にしてきました。学祖長谷川良信先生は、52年前から、地域社会との共生が本学の使命であることを予見されていました。このことは現在、地方自治体との包括協定という一つの形で継承されています。今年だけをみても、3月の酒々井町、6月の千葉市、八潮市との締結といった状況です。うち千葉市とは平成22年の相互連携協定を発展させ改めて包括連携協定を結びました。その他、東京都板橋区、埼玉県三芳町、富士見市、和光市、茨城県笠間市と協定し、それぞれ緊密な連携がなされて

います。自治体との連携は、大学の都合や学生の指導上の便宜ではなく、地域の課題やニーズにかなうものでなくではなく、それぞれの地域の現状を理解することから始めねばなりません。以下、学祖以来、強い結びつきのある千葉市をみてみます。同市では、若い市長のリーダーシップのもと、「加曾利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」という4つの地域資源を活用して市の魅力づくりを図っています。幕張新都心を国家戦略特区としたドローン技術や自動運転技術の開発「子ども若者市役所」等の若者の社会参画事業、市民との共創によるまちづくり等が取り組まれています。また本学の学生は、「車

椅子バスケットボール全国選抜大会」を千葉市と連携して開催しています。2020年には、オリンピック3競技、パラリンピック4競技が千葉市で開催されます。多くの学生がサービスラーニングの形で参画させていただこうになると思われます。それを一過性の「お祭り」として終わらせるのではなく、「オリンピック・パラリンピック・レガシー」を創り出し、それを継続させていく活動も大切だと思います。

本学の地域連携は、さらに広範な地域とともに歩むことを指向しております。生諸君のさらにアクティブラーニング学びにながることを心より期待いたします。



「共生」の想いが導くもの

座談会終了後、
看護学科4年生のみなさんと



コーディネーター
伊藤 奈津子
(看護学科 助教)

渡邊 今回、この座談会を前に改めて当時のホームページを読み返してみたのですが、その初めに「福祉の視点を持つた広い視野の看護職者を育成します。」とありました。当時福祉教育に40年の歴史と伝統を持つていた淑徳が、対人援助の延長線上に看護学科を作ろうということで始まったのですね。

福祉の視点を持つた看護のプロを育てたい、そのため新たな実践の場を作る、という想いを持つ一方で、当時千葉県は全国ワースト2の看護師不足が指摘されていました。千葉県の医療に貢献しようという使命感も帶びていたんですね。

伊藤 始めに、設立当時の背景と当時の思い出について渡邊先生からお願いします。

現在おののの現場で活躍されている1期生の3名にお話を伺いました。

今年で設立10周年を迎えた看護栄養学部 看護学科。

「福祉の淑徳」が立ち上げた看護学科は、どのように始まり、なにを培ってきたのか。看護学科を支えてきた歴代学部長3名と、その歴史を作り上げ、

看護を学ぶ場をゼロから作った一年目

看護栄養学部 看護学科
10周年記念
座談会



横井 智沙子 (よこいちさこ)さん
1期生。千葉東病院アレルギー科・内科・小児科病棟勤務。入職7年目。
同病院における淑徳大学の小児看護実習では、指導担当を務める。



矢吹 恵 (やぶきめぐみ)さん
1期生。東京女子医科大学八千代医療センター小児救急科勤務。同時に淑徳大学看護学研究科に在籍し、臨床と研究の二足のわらじを履き、多忙な日々を送っている。



秋元 知美 (あきもとともみ)さん
1期生。卒業後、専門学校の助産学科を経て、千葉県鴨川市の亀田総合病院に助産師として5年間勤務。今年度より看護学科助手として勤務、同時に本学大学院看護学研究科に在籍。



伊藤 卒業生の皆さん、どのような思い出がありますか？

横井 実は私もボランティアをしたいと相談した者の一人です。先輩はもちろんいないし、自分たちしかいない。「大学」がどんな場所なのかすらよく分からなくてドキドキしていました。でも、みんなそれやりたいことがあって、「じゃあ、先生に聞いてみよう」つて。

渡邊 不安だったよね。国家試験も初めてだし。実は私たち教員もドキドキしていましたんですよ。

矢吹 私は小児病棟の子ども達と一緒に遊ぶボランティアをさせていただきました。でもやりたいと言い出したもののか分からず本当に手探りでしたね。でも、入院中の子ども達に喜んでもらえてとても嬉しかった。実はこの時の経験が、今私が小児科で働いていることに繋がっているんです。

矢吹 私は基礎ゼミという点を持つてほしく、その時に福祉の視点があるかないかすごく大きな違いが出てくると思います。

渡邊 臨床の現場では、多職種連携が推進されていますよね。職種を超えてチームで行動するときに、福祉と看護の二つの視点をもっていることはなかなか役に立っていますか？

地域との関わり合いの中



1期生の授業風景

矢吹 私の職場は、複眼的な視点をもつ意識が活ける現場だと思っていました。NICU(新生児集中治療室)で生まれたあとに、呼吸器などを使って家庭で過ごしている子ども達や、家族のケアには、医師、看護師、薬剤師だけでなく、保健師や相談員さん、福祉職の方もかかわってきます。子ども達が成長すれば幼稚園、小学校という教育分野の専門家の皆さんとも連携が必要になってしまいます。

渡邊 これから世の中が在宅ケアにどんどんシフトしていくと予想されます。看護職も、「生活している人が病や障がいをもち、その後にまた元の生

活に戻ることを望んでいる」という視点を持つてほしく、その時に福祉の視点があるかないかすごく大きな違いが出てくると思います。

鈴木 一期生の頃は、松ヶ丘地区の地区果たしてきました。役割や今後淑徳大学が果たしていくべき、社会的使命について少し話を聞かせていただければと思います。

渡邊 地域の人々がなにを求めているのか突き詰めると、「健康」がテーマになつ

渡邊 一期生の頃は、基礎ゼミという総合福祉学部の学生と一緒に取り組むカリキュラムを立ち上げるなど、総合福祉学部と看護学科をどうやって連携させるか試行錯誤していました。どうでした？ 福祉の視点をつかむきっかけになればと思っていたのですが。

矢吹 そうですね、総合福祉学部の人

伊藤 続いて、看護学科が地域社会に奉仕していく役割や今後淑徳大学が果たしていくべき、社会的使命について少しお話を聞かせていただければと思います。

矢吹 私の取り組みが大きくなっていくと予想されています。看護職も、「道が狭い」とか「高齢者が多い」とかね。そういうことが一目で分かるマップを作つてもらつて。あの取り組みが大学と松ヶ丘町との連携の始まりでした。

鈴木 一期生の頃は、松ヶ丘地区の地区踏査をやりましたね。「こここの階段は急」とか「道が狭い」とか「高齢者が多い」とかね。そういうことが一目で分かるマ

秋元 私は地域の子育て支援サークルや夏祭りのボランティアに行かせてもらいました。

矢吹 当時、車いすの介助の実習で、地域の高齢者の方に模擬患者をやつしていましたね。学生同士ではついつい緩んでしまうところなので、なかなか緊張感のある実習ができました。

鈴木 そのあと県から助成金をいたしました「ひだまり」という地域の人が集まる拠点が出来ました。(※)今、そこで教員達による健康相談、健康講話などの勉強をしなければいけないタイミングだったので、大変ではありました

横井 千葉東病院ではクリスマスコンサートや淑徳共生苑でニューカマー講座を立ち上げましたね。国家試験の勉強をしなければいけないタイミングだったので、大変ではありました

秋元 私は淑徳の「together with him」という共生の理念がすごく好き

横井 勤務先の後輩で「なんか見たことがあるなあ」と思つたら、淑徳の卒業生だった、ということ何度かあつたんですね。同じことを学んできた仲間がいるというのは嬉しいですね。そして基本的にみんな温かい。どんなに忙しくても患者さんの目線に立つて考えているのが嬉しいです。後輩が

秋元 そういう思いを大切にしているのを見

伊藤 在学当時の学びが、日々の看護や研究に活かされていると感じること

横井 勤務先の後輩で「なんか見たこ

渡邊 小児の臨床の現場では、子ども達ももちろん大事だけど、お母さん、ご家族の事もきちんと見つめていこうと思っています。心の声をしっかりと聞き

矢吹 小児の臨床の現場では、子ども達ももちろん大事だけど、お母さん、ご家族の事もきちんと見つめていこうと思っています。心の声をしっかりと聞き

伊藤 在学当時の学びが、日々の看護や研究に活かされていると感じること

横井 勤務先の後輩で「なんか見たこ

渡邊 そういうものつて、先輩の背中を見て、継承されていくのよ。皆さんがなんだと学びはなかつた。ですから、その意識は淑徳で学ばせてもらった大事なことがあります。

矢吹 小児の臨床の現場では、子ども達ももちろん大事だけど、お母さん、ご家族の事もきちんと見つめていこうと思っています。心の声をしっかりと聞き

伊藤 在学当時の学びが、日々の看護や研究に活かされていると感じること

横井 勤務先の後輩で「なんか見たこ

渡邊 そういうものつて、先輩の背中を見て、継承されていくのよ。皆さん

矢吹 小児の臨床の現場では、子ども達ももちろん大事だけど、お母さん、ご家族の事もきちんと見つめていこうと思っています。心の声をしっかりと聞き

伊藤 在学当時の学びが、日々の看護や研究に活かされていると感じること

横井 勤務先の後輩で「なんか見たこ

渡邊 そういうものつて、先輩の背中を見て、継承されていくのよ。皆さん

は視点が違う印象を持っていました。看護だけを学んでいたら気付けないものを得られた貴重な時間だったと思います。私は淑徳大学卒業後に、助産師の専門学校に入り直したのですが、そこは技術をみっちり教える学校でした。時間が限られている事もあるのですが、妊婦さんと向き合う考え方まで突っ込んだ学びはなかつた。ですから、その意識は淑徳で学ばせてもらった大事なことがあります。

矢吹 小児の臨床の現場では、子ども達ももちろん大事だけど、お母さん、ご家族の事もきちんと見つめていこうと思っています。心の声をしっかりと聞き

伊藤 在学当時の学びが、日々の看護や研究に活かされていると感じること

横井 勤務先の後輩で「なんか見たこ

渡邊 そういうものつて、先輩の背中を見て、継承されていくのよ。皆さん

「それそとの共生」

伊藤 秋元さん助手として大学に戻ってきてなんか感じることはありますか？

和元 なんといへども先生達がこんなに大変な思いをして、授業の準備をしていったんだということ。こういう準備があるからこそ、「共生」に思いを馳せる学びの時間を作つていけるんだと改めて思いました。

て親しんでいるものもあつて、「共生」は大切にしている言葉の一つです。看護師として働く上で私自身も大切にしていくべき」とだと思つています。

鈴木 「共生」ってシンプルな言葉だから、一人ひとりの中で自由に形を変えて成長するのでしょうか。皆さんそれぞれの思いを共生という言葉で捉えて、考えている。それが成長のきっかけになつていることは、とても嬉しいですね。

関わりあう感じではないのですが、それでもその時その時に、患者さんにも家族にも、さまざま思いやニーズがあると思います。必死だった入職一年目には見えてこながつたものが、少し落ち着いた今は見つめられるようになり、「今自分がしていることは、学校で学んだ共生の考え方とは少し違うな」というズレを感じるようになつたんです。それを明確にするために大学院にきたんです。ここで得たものをしっかりと臨床に持つて帰ることができます。これがまた嬉しいなと思います。

鈴木 「共生」ってシンプルな言葉だから、一人ひとりの中で自由に形を変えて成長するのでしょうか。皆さんそれぞれの思いを共生という言葉で捉えて、考えている。それが成長のきつかけになつていることは、とても嬉しいですね。

横井 私は、実はまだ自分がなにを実現したいのか、見つけきれていらないんです。少し悩む時期もありましたが、「今は視野を広げていく時期なんだな」と、考え方を切り替え、幹部看護師任用

リストを育て始めました。A-Iを現場で活用することも、積極的に検討され始めています。時代が目まぐるしく変わる中で、大学のカリキュラムも社会のニーズを見据えて変化していくなければいけないと思っています。また現在、地域の皆さんの健康度を図る取り組みをしているんです。それは地域の人の力にもなるし、私たちの研究のデータにもなる。二重に財産になつていくものです。さらに大学には専門家がいっぱいいるのだから、地域の人が健康相談に来られるような外来のような場所があつてもいいのかな、と考えています。

文語を継承する 田中 今、学内の教

田中 今、松ヶ丘の地域の方と総合福祉学部の先生方と「こども食堂を作ろう」と、話しているんです。学生が地域の子ども達にボランティアで勉強教えていくんですが、そこがカフェみたいな場所で、そこで実現できないかな、って。

鈴木 来年、千葉県に看護学科のある学校は17校になります。そのなかで淑徳はどんなことをポイントにしていくかというと、やはり福祉があつて栄養があつて、看護という分野を超えて人間を見渡すことができる学びを得られる場であることですね。

対談を終えて

田中 医療がどんどん在宅にシフトしていくことを踏まえると、近い将来ナースが余る時代が来るといわれています。そうすると「どういう人が選ばれるか」ということになる。また、日本看護協会はさた看護学科として特に力を注いでいかれたいと思われている事柄や淑徳大学の看護学科の未来像について教えてください。

渡邊卒業生にこんな素晴らしい先輩がいることをもっと学生に伝えたいですね。たとえば、皆さんに授業で話してもらえる仕組みを作るとか。ロールモーテルって大事なんです。「あんな先輩がいるから、私も!」って。あと、福祉だけじゃなくて栄養学科とも手を組めば、

校教育研究班では、「学生時代の4年間をどう過ごし、何を目指し、何を学び、どのような人生を歩んでいくか」という学生からの問い合わせに答えるために、そして、淑徳大学の『建学の精神』を理解し、『自分の生き方を探求』していくための自校教育となるよう、その内容が吟味されています。本日の座談会は、この自校教育の目指す目的に合致した「共生」が導いた一つの成果と言えるのではないでしようか。

やっと10年といつても、まだまだ10年です。これから卒業生の皆さんにもアドバイスをいただきながら、さらに充実した「共生」を学ぶ場にしていきたいと思います。



渡邊 弘美 初代学部長
専門は神経内科、老年医学など。看護学部の立ち上げにかかわり2007年度より学部長。

鈴木 恵理子 2代目学部長
専門は小児看護、看護倫理。2011年度から
2014年度まで学部長。
現在、学長特別補佐。

田中 秀子 現学部長
専門は創傷ケア、失禁ケア、オストミーケアなど。2015年度から学部長。

淑徳人。

No. 217

UCHIYAMA Junko

内山 順子さん

国際 NGO 団体 DAREDEMO HERO スタッフ

福島県生まれの内山さんが、東日本大震災後に積極的なボランティア活動をしていたときに発生したフィリピンの台風災害。思い立ったらすぐ行動とフィリピンへ渡ると、そこで目にはしたのは想像以上に劣悪な避難所の環境でした。しかし、そこにいる人々は皆笑顔でフィリピンの人々の「利他精神」を感じました。今ではフィリピンに移住し「DAREDEMO HERO」で活動をしています。

DAREDEMO HERO ホームページ ▶ <https://daredemohero.com/>

福島県生まれの内山さんが、東日本大震災後に積極的なボランティア活動をしていたときに発生したフィリピンの台風災害。思い立ったらすぐ行動とフィリピンへ渡ると、そこで目にはしたのは想像以上に劣悪な避難所の環境でした。しかし、そこにいる人々は皆笑顔でフィリピンの人々の「利他精神」を感じました。今ではフィリピンに移住し「DAREDEMO HERO」で活動をしています。

良信先生が東京・西巣鴨の通称「二百軒長屋」におけるセツルメント（隣保）事業を組織的に展開するため、「マハヤナ学園」を創設したのは1919（大正8年）のことである。「マハヤナ学園の展開

は、本園事業の三方針として「講檀的」の本拠地と言える。



ふれあい広場「ひだまり」

今年度も看護学科、栄養学科の教員・学生が一丸となった活動が始まりました。

看護栄養学部が位置する松ヶ丘地区は少子高齢化が顕しい地域であり、「地域活力の低下」が課題となっていました。そこで、学部開設当初から地域コミュニティの活性化に向けて、「地域に開かれた大学」を実践してきました。平成23年から2年間にわたり、千葉県地域課題解決モデル事業「安心・安全まちづくり」の協働事



糖尿病予防の絵本を作成！

看護栄養学部では平成28年6月～平成29年2月にかけて、千葉市花見川区糖尿病ゼロプロジェクトの活動に参加しました。同区では糖尿病罹患率が高く区をあげて予防活動を行っています。参加募集を受け、看護学科4年生、3年生、栄養学科4年生、計6名が予防活動の一環に携わりました。予防活動の計画をたて、住民へのインタビュー、予防啓発のためのキャラクター、ステッカー、絵本作成まで区の保健師、栄養士らと話し合い進めてきました。平成29年2月には花見川区地域健康づくり支援連絡会にて、プロジェクトと絵本の完成について発表し活動を締めくくりました。絵本とステッカーは保健センター等に置かれ活用される予定です。



『学生発！栄養まんてん常備菜』シリーズがスタート

「常備菜」、用語辞典には、「ふだんから用意しておく副菜。作り置きのおかず。」と示されています。皆さんは常備菜と聞くとどんなイメージが頭にうかびますか。和食、地味な色合い、家庭料理など様々に思い描けるでしょうか。

今、書店の料理本のコーナーに行くとたくさんのカラフルな作り置きおかずのレシピ集が並んでいて、ひそかなブームになっています。

そんな背景の中、4月から浄土宗新聞において『学生発！栄養まんてん常備菜』シリーズがスタートしました。この企画は食物栄養関係の学科を設けている浄土宗立・宗門大学4校の学生によるリレー連載で、本学は4月、6月、10月を担当しています。



4月には「身体の内側からキレイに！ウドとごぼうの甘酒煮」、6月は「レモン風味でさっぱり!!!夏野菜の南蛮煮」のメニューを紹介しました。

12か月間、学生が考案する常備菜メニュー、これからも興味深く目が離せません。



コミュニティ研究Ⅱ



コミュニティ政策学部1年次「コミュニティ研究Ⅱ」では、「地域の魅力を発見して、プレゼンしてみよう！」というテーマを掲げ、千葉県内5箇所への現地訪問を核に、事前調査と振り返り学習を組み合わせた授業を行っています。

学生は4月に実施したコース希望調査を経て、去る5月20日①富津市金谷、②佐倉市弥富、③佐倉市ユーカリが丘、④印旛郡酒々井、⑤南房総市白浜を訪問しました。1コースは20～25名で、それぞれ教員2～3名が同行しました。

現地では、地域を見学するだけではなく住民の方をはじめ、地元企業の方や市役所職員などの皆さんから地域の現状や課題、日頃の活動内容などに関するお

話を聞き、質問や意見交換をする場が積極的に設けられました。コースによっては、地域の祭りに参加、NPO活動の体験など、住民と協力してマップを作成するといった活動も行われました。

現在は、金曜4限にコースごとに集まって振り返り学習を行っています。現地で見聞きしてきた情報や体験を「地域の魅力」というテーマでまとめ、7月22日(土)に開催予定の全体発表会で発表します。学外からも審査員役をお迎えして開催するこの発表会では、「情報のオリジナリティ」や「観点のユニークさ」「まとめ方の分かりやすさ」などの点で優れていたかをコンペティションの要領で競います。

「福祉マインド」の見える化、魅せる化

「大学の根幹である『福祉マインド』の一般化に向けた多面的展開の取り組み」として2016年度淑徳大学大学教育改革支援事業として採択(責任者:戸塚法子総合福祉学部教授)され、大学初全キャンパス間連携による正課外プログラムをスタートしました。

本事業は、「福祉マインド」の醸成と一般化を目指した正課外プログラムを全キャンパスで展開していきます。多くの学生さんの参加が期待されています。例えば、本学の公認キャラクター「SHUKUTOKUMA」を使った学科のイメージ展開や物語の制作、LINEスタンプやグッズ制作なども有意義な取り組みと考えています。これらを実践してゆく各キャンパスのメンバーは以下の通りですので、研究室を訪ねてみませんか？

- 千葉C:松山恵美子先生、青柳涼子先生
- 千葉第二C:松田直正先生
- 埼玉C:葉山彩蘭先生、千葉千枝子先生
- 東京C:野村浩子先生、杉原麻美先生

東京
CAMPUS

客員教授TETSUYA先生の授業の軌跡をまとめたドキュメンタリー映画が完成!



EXILEのTETSUYA先生が淑徳大学東京キャンパスの教壇に立ち、ダンスを通じて学生たちに想いを伝えていく姿を追ったドキュメンタリー映画『EXILE UNIVERSITY ~あなたの夢はなんですか?~』が完成し、その試写会が4月17日に行われました。作品では、TETSUYA先生が時に悩みながらも、学生と真剣に向き合う姿が描かれ、映画を見終わった学生の中には目に涙を浮かべる方もお

りました。エンドロールには、2014年度からの履修生全員の名前が流れ、学生にとっては、夢に向かって頑張る、そんな決意を新たにする試写会となりました。

化粧品のマーケティングについて考えます



経営学部経営学科の企業経営研究IIという科目では、企業と連携しながら講義を展開しています。その中の「消費者行動(古川担当)コース」では、今年度、化粧品を取り扱う某大手企業にご協力いただいています。取り扱うブランドは、テレビCMで見かけたことがある人も多い代表的なブランドです。

5月末、受講生全員で本社にヒアリング調査をしに行きました。そこでこの商品をお客様の手に取っていただくための様々なマーケティングやその課題等が明らかになりました。このブランドが今後、更なる発展をするためのアイデアを受講生全員で考えます。成果発表は7月末です。どのようなアイデアが生まれるのでしょうか。

試験対策講座を開講

インディアカサークル

Pickup



今年も「超難関進路に一步でも近づくことを目指す」ための講座を8~9月上旬に以下の2つの講座を開講予定。1年生から受講できます。
 ①【教員希望者にオススメ!教員採用試験対策講座】効果的プログラムで、採用試験現役合格を目指します。
 ②【表現力をもっと磨きたい方にオススメ!テレビ朝日系列とタイアップ!!アナウンサーに学ぶ話し方対策講座】好感の持たれる話し方、エントリーシートの書き方など実践的技術を身につけることができます。特に狭き門であるアナウンサー、放送局・ラジオ局(総合職等)への就職を目指す方は早めの準備が必要です。各講座の詳細は淑徳大学ホームページの「INFORMATION(お知らせ)」からご覧ください。

【代表者】多々良俊一(表現学科2年)

【創立部】2016年 【部員数】7名

【活動日】毎週金曜日 16:30~19:00

【活動場所】3号館アリーナ

イエエエイ! こんにちは! インディアカサークルです! 私達は男子5名、女子2名で活動しています。目標はインディアカを通じていろいろな人と交流する、大会で一勝する(そして優勝)です!

ところで、みなさんはインディアカという競技を知っていますか? 1930年代末に旧西ドイツで誕生し、羽の付いた特殊なボール(インディアカボール)を手で打ち合うバレータイプのスポーツです! …なんだかよくわからない、ですっ

て!?ならば一度体験しに来てください! 簡単です! 運動不足解消できます! 貴重な体験です! そして楽しいよ!

現在、表現学科の2年生しかいません。それに人数が足りなくてまとまに試合ができません! なので、歴史、表現、短大、何年生でもウェルカムです! みんなでインディアカ界に淑徳旋風を起こしましょう! 気軽に遊びに来てください!

保護者説明会および協賛会・後援会総会を開催しました

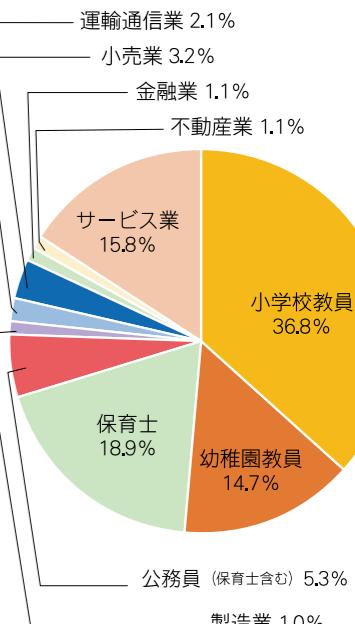
5月27日、埼玉キャンパスにて埼玉協賛会・後援会主催の春の保護者説明会および協賛会・後援会総会を開催いたしました。当日は総会のほか、短期海外研修の説明、ゼミ担当教員との個別面談、学部教員を交えての学部別懇談会、就職説明会などが行われました。参加された保護者の方からは、「今回初めてゼミの先生を交えて4年生から1年生までの保護者の方とお話をることができ、来て良かったと思いました。不安なことや就職での準備など色々聞くことができました。大学側の本気度が分かり、この大学に入學して良かったと思います。」「今回で2回目の参加ですが、内容も工夫されていて、その年の大学や就職の状況など

が分かりました。他の方にもぜひ参加していただきたいです。」などのご感想をいただきました。次回の保護者説明会は10月22日(日)に開催予定です。淑徳祭が同時開催されていますので、この機会にぜひ淑徳生の発表の場を保護者の皆さんにも直接ご覧いただき、また併せて保護者説明会へもお越しいただければと思います。



教育学部 1期生105名 のうち70名が 教員、保育士と なりました

平成29年度教員採用試験・公務員保育士試験において、小学校教員17名、公務員保育士3名の合計20名が合格を果たしました。教員採用試験の一次試験合格率は65.4%、最終的な合格率は42.5%と埼玉県教員採用試験合格率31.6%を上回る結果となっています。また、臨時的任用教員として18名、幼稚園教諭として14名、保育士として21名(公務員保育士3名を含む)が採用されました。



**第九回
看護栄養
川柳コンテスト**

応募作品 「看護や栄養に関わるテーマ」で看護栄養川柳を募集いたします。

応募点数 おひとり様1作品まで。

応募方法

- ①メール senryu@soc.shukutoku.ac.jp
- ②FAX 043-305-1818
- ③看護栄養学部事務部へ直接提出
※氏名・住所・電話番号・メールアドレス・応募区分(一般・大学生・高校生・中学生以下)をご記入ください。

締切 2017年7月31日(月)必着

応募先 淑徳大学 看護栄養学部「看護栄養川柳」係
〒260-8703 千葉市中央区仁戸名町673
TEL 043-305-1881 FAX 043-305-1818
E-mail senryu@soc.shukutoku.ac.jp

知識モリモリ×健康モリモリ

—— 今回は看護学科 小川 純子 先生に伺いました。 vol.17

小児がん経験者と晚期合併症 (Late Effects)

「ゴールドリボンウォーキング」というイベントをご存知でしょうか? 本学は、唯一の教育機関としてこのイベントに協賛していて、学生がボランティアで参加しています。今回は、このイベントでサポートしている『小児がん』についてお話しします。

小児がんとは、乳幼児から15歳までにかかる悪性腫瘍の総称です。発症数は、全国で年間2,000～3,000人です。現在では治療の進歩により、約70%の子ども達が学校や社会に復帰し、成人に至ることが出来るようになりました。米国の推計では、2020年までに若年成人の人口600～1,000人に1人は小児がん経験者であると予想されています。本学の全学部入学者数が1,300人程度なので、1学年に1～2名の小児がん経験者がいるという計算になります。

子どもは発育途中であることから、成長や時間の経過に伴って腫瘍そのものあるいは抗がん剤や放射線治療の影響によって生じる『晚期合併症』がみられます。多くの晚期合併症は、年齢に伴って発症しやすくなり、治療後何十年も経過してから症状が現れることも少なくありません。そのため、定期的な診察と検査による長期フォローアップや継続的な治療を受ける必要がある経験者が半数以上います。小児がん経験者がその子らしく社会で活躍できるよう、多くの皆様が『小児がん』や『晚期合併症』について知って頂けると嬉しいです。興味を持ってくださった方は、私が所属している認定NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズのホームページ(<http://www.millefeuille.or.jp>)も訪ねてみてください。



淑徳大学 全キャンパス 学生・保護者等・教職員対象

スペシャルナイター



千葉ロッテ
マリーンズ

VS

北海道日本ハム
ファイターズ

8月2日水

※雨天の場合、中止することがあります。

当日本誌(Together 217号)を見せると、内野自由席入場料 通常2,600円→

500円(1名様)で観戦できます。

● 本学学生証提示でもOK

チケット購入場所

当日ZOZOマリンスタジアムにて設置される
淑徳大学ブースにて販売(16:00～19:30)▶



『腎臓にやさしい減塩料理教室』

開催のお知らせ

千葉東病院と共に減塩料理教室を行います。これを機に減塩食の知識を深め、普段の食生活を見直してみませんか?

日 時: 2017年10月7日(土) 10時～14時
場 所: 淑徳大学 千葉第二キャンパス 2号館1階 調理実習室
対 象: 腎臓病の方 又は そのご家族(定員16名)
内 容: 医師・管理栄養士によるミニ講義
減塩食の調理実習
減塩食の試食

参 加 費: 1人 500円(食材費、レクリエーション保険込)



※ 写真は昨年度のものです。イメージ写真ですので、ご注意下さい。
※ 詳細につきましては、千葉東病院および淑徳大学のホームページにてご案内いたします。スタッフ一同より皆様の参加をお待ちしております。

編集後記

昨年の4月に看護栄養学部栄養学科へ赴任して、早1年少々過ぎようとしています。慣れない中、授業の準備や学務に追われ、日々慌ただしく過ごして来てきましたが、心地よい疲れを感じています。そう思えるのも学生さんのおかげだと思っています。淑徳生らしい人懐こい気質の学生さんから声をかけられ、疲れてなんていられない!と奮い立たれます。また、本学科も2期生まで卒業生を送り出し、彼らの活躍も聞こえています。今月号は看護学科をフィーチャーした号ですが、淑徳を巣立った卒業生の活躍を拝見するのは本当にうれしく思います。困ったり悩んだりしたら、母校にいつでも帰って来られるような雰囲気作りも教員の務めと思っておりますので、これまで以上に学生ファーストで尽力できればと思っています。皆さん頑張って下さいね。まとまりのない編集後記でした…。(千葉)

「淑徳大学広報誌」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております! reply@soc.shukutoku.ac.jp

千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部 大学院 総合福祉研究科
〒260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町200
TEL : 043-265-7331

千葉第二キャンパス

看護栄養学部 大学院 看護学研究科
〒260-8703 千葉県千葉市中央区仁戸名町673
TEL : 043-305-1881

埼玉キャンパス

国際コミュニケーション学部 経営学部 教育学部
〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL : 049-274-1511

東京キャンパス

人文学部 淑徳大学短期大学部
〒174-0063 東京都板橋区前野町6-36-4
TEL : 03-3966-7631